

ばんぼう

開業志向勤務医も必見! 自分の開業医度をチェック

CLINIC BAMBOO

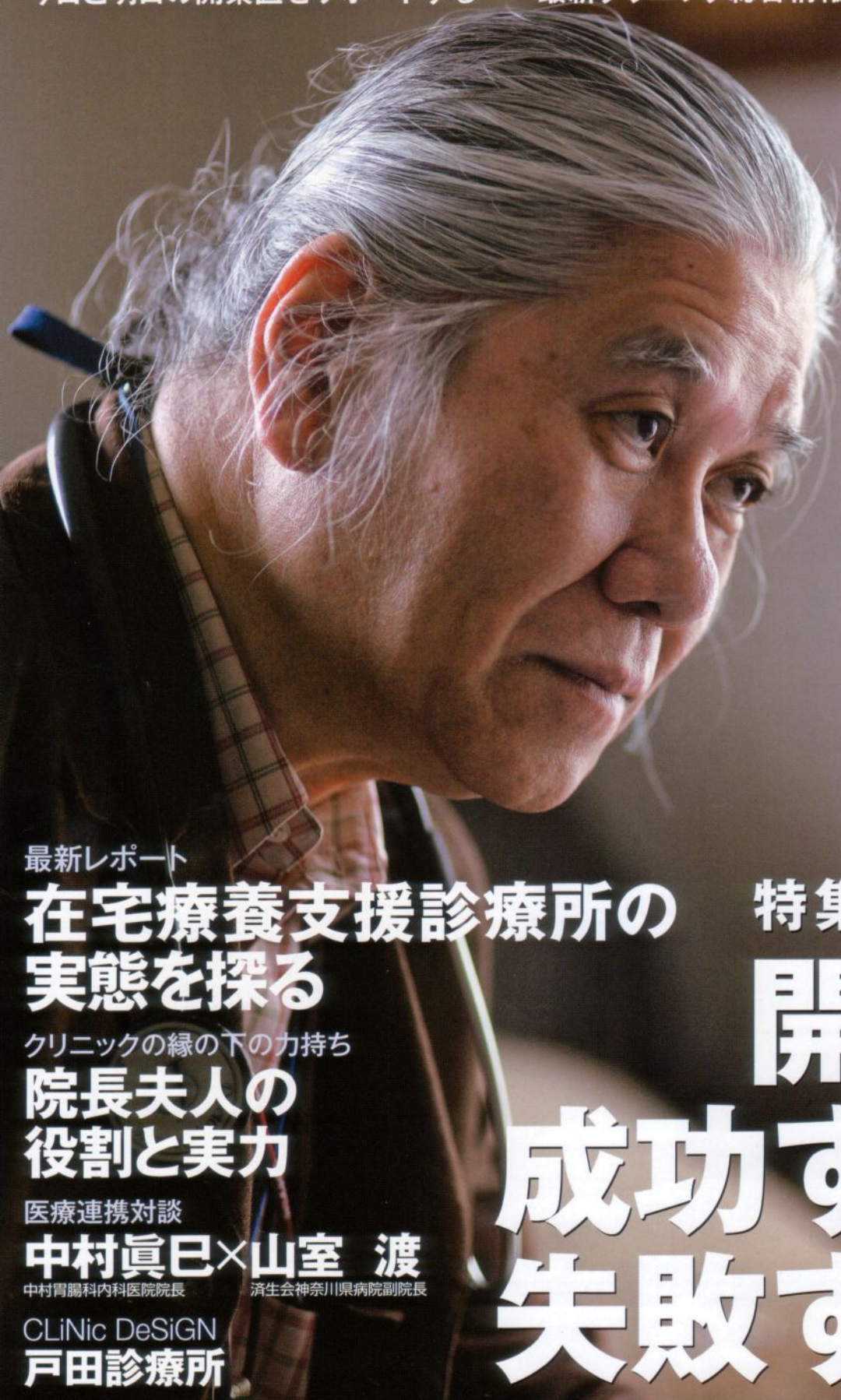
今日と明日の開業医をサポートする——最新クリニック総合情報誌

7 JUL.2006
VOL.303
定価 1,020 YEN

THE FAMILY DOCTOR

上田建志

医療法人社団青い鳥会理事長
上田クリニック院長



最新レポート

**在宅療養支援診療所の
実態を探る**

クリニックの縁の下の力持ち

**院長夫人の
役割と実力**

医療連携対談

中村真巳×山室 渡

中村胃腸科内科医院院長

済生会神奈川県病院副院長

CLiNic DeSiGN
戸田診療所

特集 徹底検証!

開業に 成功する人、 失敗する人

発行所 株式会社バンボウ 編集 株式会社バンボウ 印刷 株式会社バンボウ 発行 株式会社バンボウ

【レポート】

Infor
Mation

女医の仕事と家庭の両立 新しい病院評価事業

4月21日、大阪市中央区でNPO法人「女性医師のキャリア形成・維持・向上をめざす会」(e-jnet)が、5月から始める新事業「女性医師にやさしい病院評価」の説明会を行った。病院を、「女性医師が安心して働くことができる」という観点から、勤務体制や育児支援などさまざまな項目で評価、認定する。「不規則な勤務時間や産休、育休を取りにくいなどの事情から離職を余儀なくされる女性医師



真剣に関き入る病医院経営者たち

が後を絶ちません。新人医師の3人に1人が女性というなか、仕事と出産・育児を両立できるような職場環境づくりが大切。そのための一助となればと思います」と同会の代表を務め、ラ・クォール本町クリニックの院長でもある瀧野敏子氏は、事業目的について説明した。認定方法は、申し

込みのあった病院にまず書面審査を行ったうえで、現地訪問、ヒアリングを実施。報告書とともに、瀧野代表を委員長とする女性医師、学識経験者、弁護士、社会保険労務士、医療系ジャーナリストなどで構成される評価委員会が審議し、評価を決める。評価項目は、育児・介護のサポート体制や復職支援、キャリアにかかわる専門医・認定育成プログラムなどの状況、セクハラ対応など。

「女性医師の活躍できる場にはおのずと優秀な方が集まるため、質の高い医療サービスの提供により患者満足度の向上にもつながると思います」と瀧野代表は病院側のメリットについても言及。医師不足が深刻化するなか、人材確保の点からも女性の力は不可欠である。一考してみることがありそうだ。問合せは同会病院評価事業部(電話06・6261・8666、FAX06・6261・8667、E-mail:info@hospirate.jp)まで。

24時間安心を提供すること 在宅療養支援診療所の役割

5月27日、緩和ケア病棟や在宅ホスピスにかかわる医療者などでつくる、日本ホスピス緩和ケア協会九州支部(代表 下稲葉康之・栄光病院院長)の06年度総会が福岡市の福岡国際会議場で開かれた。



在宅ホスピスのあり方なども活発に議論が交わされた

阿部まゆみ・広島県緩和ケア支援センター支援室長が基調講演。「誰もが安心して緩和ケアサービスを利用できるために、地域緩和ケアチーム、病院緩和ケアチーム、緩和ケア病棟からなる『緩和ケアアトリアングル』を地域ごとに形成していく必要がある」と述べた。また、「在宅緩和ケアは『看取りのケア』というイメージが先行しているが、これ以上の治癒が望めない患者の『在宅療養から死に至るプロセスを支える』ケアであり、その人まる

ごとに関心を示し、『いのち』を看る医療』と強調した。続いて行われたテーマ別教育講演の「在宅ケア」部門では、福岡県行橋市の矢津剛院長が、「在宅クリニックの矢津剛院長が、『在宅療養支援診療所』の役割について講演。矢津氏はその役割を「24時間、地域に安心を提供することにほかならない」と定義した。そのうえで「開業医同士